

2026年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社エイチームホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 林 高生  
(コード番号：3662)  
問 合 せ 先 執行役員 社長室長 森下 真由子  
(TEL. 052-747-5573)

## 株式会社エイチームホールディングス 機関投資家ミーティング よくある質問と回答 (2026年4月)

2026年4月に実施した機関投資家との1on1ミーティングにおける主な質問と回答について、下記の通り開示いたします。本開示は株主・投資家の皆様への情報発信を通じてご理解を賜ること、フェア・ディスクロージャーを目的としております。なお、質問及び回答に関して、一部内容・表現を加筆・修正しております。

記

### 検索エンジンのAI要約欄の比較サイトへの影響について

**Q. 検索エンジンで検索をした際にAIによる要約が表示されることがあるが、「引越し侍」などの比較サイトの運営上、なにか影響はありますか？**

A. 検索エンジン上でキーワードを入力して検索すると、検索結果の最上部にAIにより生成された要約回答が表示されることがあります。この時ユーザーは、AIに引用されている個別のWebサイトまで遷移しなくとも必要な情報を取得できます。このように、従来の検索結果に比べ「ゼロクリック検索」が増加する傾向があるため、一般的なWebメディアはアクセスが減少するなどの影響を受けると考えられます。

例えば、引越し比較・予約サイト「引越し侍」の場合、引越し関連の情報を求めるユーザーが検索エンジンで「引越し やること」と検索したとき、引越しに関する手続き（住所変更などの行政手続き、各種ライフラインの登録変更など）の情報を記載したWebサイトの訪問者数が減少する可能性がございます。

しかし、当社の主要サービスである「引越し侍」や「ナビクル」などは、情報提供にとどまらず、ユーザーの「アクション（見積もりの申込み等）」を伴うサービスです。そのため、AIによる検索行動の変化に対しても、見積もりの比較・検討を効率的に行えるという価値は継続的に発揮できるのではないかと考えております。当社では、AIの浸透によるユーザーの検索行動の変化等を注視しつつ、引き続き、集客チャネルの多様化やAIに選好されるサイトづくりなどを行ってまいります。

## 資本コストに関する考え方について

---

**Q. 2024年12月3日に開示した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」では、資本コスト3.5%という目標を掲げていますが、現時点でなにか変化はありますか？**

A. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」においては、財務レバレッジを活用しM&Aを推進するとともに、積極的な株主還元を行うことで株主資本を圧縮し、資本コストを6.5%から3.5%まで低減させていく方針を記載しております。

一方で、当該資料を開示した2024年12月頃のリスクフリーレートである日本国債の利回りや、有利子負債における金利の利率が、現時点では上昇傾向であると認識しております。

引き続き当該資料の方針に則り、中期経営計画の達成に向けて、レバレッジを活用しながらM&Aの推進と積極的な株主還元を実施していく計画ですが、資本コストに関しましては金融市場における金利動向等の状況を注視しながら、目標とすべき適切な水準を検討してまいります。

以 上